

骨塩定量（骨密度）検査のご案内

骨塩定量検査とは？

- ・2種類のエネルギーのX線を使用して、骨・脂肪・筋肉の量を測定する検査です。
- ・腰椎と大腿骨、もしくは全身を撮影して骨密度を測定します。
- ・測定値は若年成人と、および同年代の平均値と比較されます。
- ・主に骨粗鬆症やサルコペニアの診断に使用されます。

骨粗鬆症とは骨がスカスカになり、もろく折れやすくなる病気です。

サルコペニアとは全身の筋肉量が減少する病気です。

骨塩定量検査の注意事項

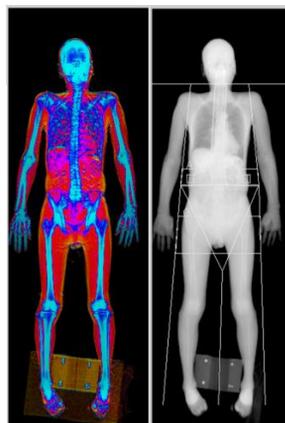
- ・検査前に食事・飲み物等の制限はありません。
- ・妊娠中あるいはその可能性が否定できない方はお申し出ください。
- ・測定部位に金属やプラスチックが含まれると検査結果に影響を与えるため、衣服によってお着換えしていただく場合があります。
- ・放射線を使用した検査ですが、被ばくは身体に影響を与える量ではありません。
- ・検査中は検査台に寝て、呼吸の合図等はありません。
- ・撮影時間は10分程度ですが、測定処理に5分程度かかります。
- ・測定結果を印刷してその場でお渡しします。
- ・検査後に注意事項はありません。

（ほかの検査がある場合はそちらの指示に従ってください）

▼ 全身撮影

▼ 腰椎正面

▼ 大腿骨近位部



▲ 撮影装置：HOLOGIC社 Horizon